

農園ゲストハウス おみやど

東御市 宮下 広将さん

長野県民泊事例 No. 1

掲載日 令和2年3月6日



築100年の古民家住宅で農業と民泊をされている、東御市の宮下 広将さんを紹介します。



東御市の農園ゲストハウス「おみやど」の目の前は広い田畑が広がっています。
日当たりと風通しがとても良さそうで、広くて天井が高い畳のお部屋は落ち着きがあります。
お邪魔した日は天気が良くて、長い縁側にはたくさんの座布団が干されていました。

神奈川県出身の宮下さんは、「農業と宿泊業がしたい！」と、写真関係の仕事を辞めて
ここ東御市にて、無肥料無農薬の自然栽培で、麦、豆、果実、旬の野菜などを作りながら、
「おみやど」のご主人をされています。

「東御市は、民泊事業者と市役所職員、信州とうみ観光協会が2月に一度集まって、観光や民泊など
地域活性につながることを皆で話し合ってます。東御市商工観光課で民泊相談もできますし、
民泊事業者同士も繋がるのが良い点だと思います。」と話を聞かせていただきました。



農園ゲストハウス「おみやど」では、家族・お仲間での宿泊以外にも、農業体験やBBQ、お手製ピザ窯でのピザ焼きなど、様々な体験メニューが用意されています。農業体験では、種まき、苗植え、果実や旬の野菜の収穫など、お客様はみんな初めて作業する方ばかり、とても喜ばれるそうです。

お話を伺った2月、畑には麦が栽培されていました。

今は、米作りをお知り合いの農家さんにお手伝いに行き教わっているとのこと。

「麦、大豆、米ができれば、自家製の味噌だけでなく醤油なども作って、ここに泊まりに来たお客様に体験していただいたり、味わってもらえたら…」

と、目標を描き、行動を起こされています。



こちらのピザ窯ですが…

「民泊に来てくれた方とピザを焼いてみたいと考えていた時、窯を作れる方と知り合えて…ピザ窯を作るイベントをしました。興味を持った方が集まり、皆で窯を作ってピザも焼いて食べました。他には、無農薬大豆を使い豆腐作りもしましたよ！畑では、麦を栽培しているので、自家製の小麦でピザを焼くのもいいかな！！」

と、優しい笑顔で話をしてくださいました。



これまで来てくれたお客様が自由に書いて貼り付けられる大きなボードが、玄関入り口にあり、たくさんの方々からの素敵なメッセージやイラストが掲示されています。



「ただ単に人が泊まりに来る場所だけではない、いろいろな体験をしてもらえる楽しい場所として展開していけることをこれからも目指していきます。」と、話を聞かせていただきました。

何事にも意欲的にチャレンジされ、農園ゲストハウスを拠点に、人との出会いを楽しまれている「おみやど」宮下広将さんの紹介でした。

